

「エコドライブ」は、地球にも 懐(ふところ)にもやさしい

シリーズ

家庭でできる温暖化防止①



身近な化石燃料(石油や石炭)の消費といえば、
真っ先に自動車による
ガソリンの消費(燃焼)が思い浮かびます。
今回は自動車にかかわることを2つ紹介します!

取り組み1

アイドリングストップを 実行しよう!

*各世帯で1台の車につき1日
計5分間のアイドリングス
トップを1年間実行すると、
約39キロのCO₂削減効果が
あり、経費ガソリン120円
/ℓにして約2,000円
の節約にもなります。
駐車や長時間停車する際
には、エンジンを切りましょ
う!

取り組み2

週2回往復8キロの 運転を控えましょう!

*例えば、燃費10キロ/ℓの車
の所有者が週2日として年間
100日運転を控えると、
約185キロのCO₂削減
効果があり、経費(ガソリ
ン120円/ℓ)にして約
9,600円の節約にもなり
ます。

通勤や買い物の際には
歩いたり自転車を使いま
しょう。健康にも良いで
すよ!

市内の所有者全員がこの2つ
の取り組みを実行することによ
り、市全体で年間約6,597
トンのCO₂削減になります。

*美濃加茂市では、通勤などに
利用されている自家用車が
29,453台登録されてい
ます。(16年3月末)

(環境省データ、岐阜県自動車会議所データより)

●このコーナーは、環境課が担当します。内線304

男女共同参画①

シリーズ

一人ひとりが大切

『男と女』



ある中学生との会話です。
「この地域に住む外国人についてどう思う?」
「怖い。だって親がそう言っていたも」
「あなたは どう思うの?」と聞こうとしてや
めました。

周りの大人たちの何げない一言が、「外国人」
に対する子どもたちの考えを無意識のうちに
左右していました。将来を担う子どもたちの
育ちに、私たち大人の責任はとても大きいと思
います。

日本人と外国人、男性と女性、大人と子ど
も、すべて同じ「人」です。しかし、だれ一人
同じ人はいません。大切なのは、一人ひとりみ
んな違っていることを認め、お互いに尊重し合
うことではないでしょうか。

一人ひとりが認められ自分らしく生き生き
と輝ける社会の実現を、男女共同参画は目指し
ています。この社会が実現することにより、
きつとすべての人に暮らしやすい「まち」とな
るでしょう。この「まち」をつくるために、あ
なたもできることから始めてみませんか。